

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 23.3.2 第 177 回国会第 2 号

3月2日(水)、第2回の委員会が開かれました。

1 厚生労働関係の基本施策に関する件

- ・細川厚生労働大臣、大塚厚生労働副大臣、岡本厚生労働大臣政務官、小林厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

中 根 康 浩君(民主)

- ・第3号被保険者の記録不整合問題(いわゆる運用3号問題)の経緯と今後の対応を説明願いたい。
- ・国籍要件撤廃前に障害者となった在日外国人や夜間・通信制の学生など、特別障害給付金支給法の支給対象とならない無年金障害者に対する施策の検討状況はどうなっているのか伺いたい。
- ・労災特別介護施設(ケアプラザ)において遷延性意識障害者の受け入れ態勢を拡充するため、入居要件の見直し、労働保険特別会計労災勘定の積立金の活用による設備の充実、施設を管理する財団への天下りの縮減による経費削減といったことを検討すべきではないか。

工 藤 仁 美君(民主)

- ・精神障害や自殺について、労働災害の認定率が低いのは認定基準が厳しいためではないか。基準の見直しは検討されていないのか。
- ・労働相談ではいじめやパワーハラスメントに関するもの

が多くなっており、こうした問題がメンタルヘルス不調の原因となっている。こうした状況についての認識と取組状況を伺いたい。

- ・いじめ・パワーハラスメント対策の検討に当たっては、こうした問題に取り組んでいる労働組合や市民団体の意見を取り入れるべきと考えるが、厚生労働大臣の見解を伺いたい。

吉 田 統 彦君(民主)

- ・デバイス・ラグ、ドラッグ・ラグ解消に向けて(独)医薬品医療機器総合機構(PMDA)の審査体制の見直し状況はどうなっているか。また、承認審査を改善するため技術系職員の採用を増やすべきではないか。
- ・医薬品の人道的使用であるコンパッショネートユース導入についての検討状況を伺いたい。
- ・新規収載品の薬価の高さと比較して手術料は安すぎるのではないか。双方について適正な評価を行うべきではないか。